

平成27年10月15日

各位

一般財団法人 建設工学研究所
代表理事 川谷 健

平成27年度学術講演会のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、建設工学研究所は、1958年の設立以来「安全で安心な都市及び地域の創造に寄与する」ことを目的に、建設工学と建設技術に関する研究・調査及び研究助成を通してこの分野の向上・発展に努めるとともに、学術的成果の社会還元を積極的に進めてきております。

当研究所主催の「学術講演会」は、建設工学および建設技術の知識の普及を目的に毎年この時期に開催しており、本年も別紙のとおり3名の方々にご講演いただきます。

つきましては、皆様にはご多忙のこととは存じますが、お繰り合わせのうえご来聴賜りたく、ご案内申し上げます。併せて、関係各位にご周知の程よろしくお願い申し上げます。

なお、ご参加いただく場合は、同封の参加申込書を11月5日（木）までにFAXにてお送り下さいますようお願いいたします。

また、講演会終了後に講師を交えての意見交換・交流会（会費制）を開催いたしますので、併せてご案内申し上げます。

敬具

一般財団法人 建設工学研究所

平成 27 年度 学 術 講 演 会

日 時 平成 27 年 11 月 13 日 (金) 13 時 15 分 ~ 16 時 50 分
会 場 兵庫県民会館 11F パルテホール
(神戸市中央区下山手通 4 丁目 16 番 3 号) TEL 078-321-2131
交 通 JR・阪神「元町」駅から徒歩 7 分。地下鉄 西神・山手線「県庁前」駅すぐ。
参加費 無 料

プログラム

司 会 理 事 澁 谷 啓

開 会 13:15

開会挨拶 代表理事 川 谷 健

講 演 13:30 ~

(1) 豪雨による土砂災害の予測

神戸大学大学院工学研究科 准教授

竹 山 智 英

(2) 設計地震動はどのように評価されているか

神戸大学都市安全研究センター 教授

所員 長 尾 毅

~ 休 憩 ~

(3) 全線開業 40 周年を迎えた山陽新幹線強靱化の取り組み

西日本旅客鉄道株式会社 常務技術理事 構造技術室長

松 田 好 史

閉 会 16:40

閉会挨拶 業務執行理事 沖 村 孝

意見交換・交流会 (会費制)

17:15 ~ 10F 福 の 間

問 合 先

一般財団法人 建設工学研究所 事務局
〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 3 番 10 号
TEL 078-851-1850 FAX 078-851-5454
E-mail: office@kensetsuk.or.jp
<http://www.kensetsuk.or.jp>

講演概要

1. 豪雨による土砂災害の予測

竹山 智英

近年、例えば平成25年10月、台風26号による伊豆大島で発生した土砂災害、平成26年7月、南木曾町で発生した土砂災害、平成26年8月、広島市で発生した土砂災害にみられるように大型化する台風や豪雨による土砂災害が多数発生している。このような激甚化する土砂災害への対策は今後ますます重要な課題になると予想される。このような災害に対して有効な対策をするためには、土砂災害の発生を予測することはもとより、発生後の土砂の流出範囲の予測が有用な情報になる。土砂災害の予測手法として粒子法のひとつである SPH 法を用いることを考えている。現段階では、雨による土砂災害の予測ができる段階には至っていないが、粒子法の概要、関連する研究成果を紹介する。

2. 設計地震動はどのように評価されているか

長尾 毅

構造物の耐震性能評価法は近年長足の進歩を遂げており、地盤や構造物の複雑な非線形挙動を解析的に再現する手法の開発が進んでいる。ところで、構造物の耐震設計を考えるとき、対象構造物の耐震性能評価のみならず、設計地震動の評価が極めて重要であることは改めて指摘するまでもないといえる。しかしながら、多くの社会基盤施設の設計地震動については、既往観測最大地震動をベースに設定されているのが現状である。

地震工学の分野では、地震動は震源依存かつ地点依存のものであり、各種の特性を把握することにより、地震動の時刻歴波形を精度良く再現することも可能になりつつある。

このような設計地震動の現状と評価法に関する展望を述べる。

3. 全線開業 40 周年を迎えた山陽新幹線強靱化の取り組み

松田好史

全線開業 40 周年を迎えた山陽新幹線は、当時さまざまな制約を克服しながら、1972 年 3 月岡山開業、1975 年 3 月博多開業を果たした。以来 40 年間、延べ約 24 億人のお客様をお運びした山陽新幹線が、国土や経済の発展、文化の交流に果たしてきた役割は大きい。

2013 年 12 月、いわゆる国土強靱化基本法が成立した。国土強靱化をめぐるハード対策上の大きな課題は、巨大地震に対する地震津波対策の推進に代表されるように防災・減災による強靱化であり、もうひとつの課題は高経年化しつつある大量の社会インフラの戦略的な維持管理・更新である。

高度経済成長期に建設された山陽新幹線は、1995 年に兵庫県南部地震、1999 年に山陽新幹線コンクリート問題を経験し今日に至っている。JR 西日本では、ハードソフト両面からさまざまな対策を講じてきているが、これらの対策は、まさに脆弱性評価を実施し優先順序を定めて実施してきた、いわば鉄道強靱化の取り組みであったとも言える。

講演会では、山陽新幹線強靱化に係るこれまでの取り組みについて報告する。

《 会場案内 》

兵庫県民会館

住所：〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

電話：078-321-2131

当会館までのアクセス

JR・阪神「元町」駅から徒歩約7分

地下鉄 西神・山手線「県庁前」駅 東出口1、2から徒歩すぐ



学術講演会等参加申込書

～ 宛 先 ～

FAX (078) 851-5454

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 1-3-10

一般財団法人 建設工学研究所

下記にご記入のうえ11月5日(木)までにご回答の程、お願い申し上げます。

団 体 名

または氏名 _____

ご 住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

参 加 者

| 氏 名 | 所属部署等 | 講演会 | 意見交換・交流会 |
|-----|-------|-----|----------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

- ・ ご出席いただける催しに○印をご記入下さい。
- ・ 意見交換・交流会会費(3,000円)については、当日会場受付にて申し受けますのでよろしくお願いいたします。

学術講演会等参加申込書

～ 宛 先 ～

FAX (078) 851-5454

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 1-3-10

一般財団法人 建設工学研究所

下記にご記入のうえ11月5日(木)までにご回答の程、お願い申し上げます。

団 体 名

または氏名 _____

ご 住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

参 加 者

| 氏 名 | 所属部署等 | 講演会 | 意見交換・交流会 |
|-----|-------|-----|----------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

- ・ ご出席いただける催しに○印をご記入下さい。
- ・ 意見交換・交流会会費(3,000円)については、当日会場受付にて申し受けますのでよろしくお願いいたします。